



お祝いの言葉



東北大学 教育学部長・教育学研究科長
八鍬 友広

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業まことにめでたうございます。教育学部・教育学研究科を代表いたしまして、皆さんの新たな門出に対し、心からお祝いの言葉を述べさせていただきます。

教育学部・教育学研究科におきましては、まことに残念ながら、昨年度に引き続き、今年度も卒業・修了祝賀会を中止せざるを得ないものと判断いたしました。大変心苦しい次第ではありますが、現在の事情に鑑みまして、ご諒解いただきたくお願い申し上げます。研究科ホームページ上におきまして、皆さんへのお祝いの言葉を述べさせていただきます次第です。

皆さんが大学生活の最後の一年として過ごされました2020年度は、まことに異例な年となりました。コロナ禍にはじまった一年ですが、いまなおそれは終息にいたっていません。ともに学生生活を過ごした友人と別れを惜しむ間もなく、皆さんは、新しい道に踏み出さなければなりません。長きにわたった学業の修了に際し、華やかにそれを祝いたい、その思いは、皆さんを送り出す教職員一同の共に抱えているものでもあります。いま私どもにできるのは、ただその思いを皆さんにお届けすることのみではありますが、皆さんと笑って再びお会いできる日が必ず来るでしょう。その日を楽しみにしております。

いま、卒業の時を迎え、皆さんの前には、洋々たる前途が広がっております。しかしながら、同時にそこには、解決を要する多くの困難が待ち受けています。とりわけ、人間の活動に由来するといわれる気候変動の問題は、もはや遠い未来の話ではありません。私たち自身が現実に直面しているものであり、もはやこれ以上先送りすることが許されない問題でもあります。これまでとまったく異なる世界の構築が、いま私たちには課せられています。それがどのようなものになるにせよ、そのような新しい社会を構想し、また建設する事業の先頭に、皆さんは立たなくてはならないでしょう。皆さんの若いその力に対し、社会は大きな期待を寄せています。東北大学で培われた批判的省察力を大いに発揮し、しなやかに、そしてたくましく、社会の期待に応えていただければと存じます。

最後に、あらためてお祝いの言葉を述べさせていただきます。

ご卒業、まことにめでたうございます。